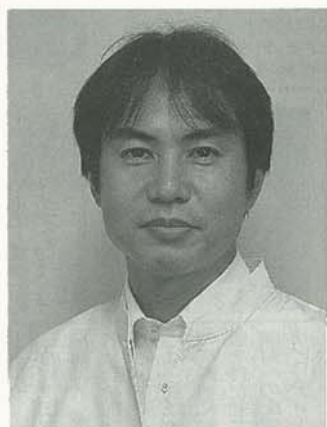


新トップ登壇

「企業には変えるべきものと、変えてはいけないものがある」
—。安田信行社長は創業理念を核とし、時代の変化に対応できる企業づくりの推進に着手した。これまでグループ会社の武蔵野ロジスティクス、武蔵野フーズで経営トップを経験し、武蔵野ホールディングスで将来ビジョンを準備してきた。

武蔵野

安田 信行 社長



人・企業づくりりへ意識改革

「企業には変えるべきものと、変えてはいけないものがある」
—。安田信行社長は創業理念を核とし、時代の変化に対応できる企業づくりの推進に着手した。これまでグループ会社の武蔵野ロジスティクス、武蔵野フーズで経営トップを経験し、武蔵野ホールディングスで将来ビジョンを準備してきた。

長が目指すのは、安田会長が会社づくりで培った「全員経営」の理念を進化させ、意識改革を通じて従業員の個々の力を高めること。社会の変化に対応できる仕組みを作ることである。

4年前、武蔵野ホールディングスが設立されたことで、本社機能が一本化、管理部門強化と同時に人材育成にも注力することとなった。個々の力を強くするこ

ような教育制度を整備しなくてはならない」と安田信行社長は語る。

武蔵野フーズが製造する「セブンゴールド金の食パン」は、発売開始から2週間で累計65万個を売り上げ、現在もメディアに取り

上げられることが多く、この大ヒット商品功例だ。

一方、米飯カテゴリーは、武蔵野フーズの独自技術である低温長時間発酵と遠赤外線トンネルオープンを設置した、日本屈指のパン工場・カムス第2工場（埼玉県嵐山町）が生

産している。

「市場の変化を見抜いた商品を作っているか。何より自分たちが

も確保している。「設備が大きくなっただけで売上げが増えるわけではない。今から商品開発のベースを作り、新しい考え方や技術を乗せていかななくてはならない」と気を引き締める。

自らを鍛え、自主性を重んじ、相手を敬う。学生時代に打ち込んだ剣道が生かされている。「個人の力を上げ、企業のパワーを上げる」と。それがメーカーとして消費者の食に対する社会的責任を果たすことにつながる」と、決意を新たにす。

安田信行氏（やすだのぶゆき）1968年生まれ、東京都出身。93年8月武蔵野に入社。2004年6月取締役、09年6月代表取締役副社長。現在は武蔵野フーズ代表取締役社長（06年12月から）、エムフーズ代表取締役社長（10年6月から）、武蔵野ロジスティクス代表取締役（08年2月から）、武蔵野ホールディングス代表取締役社長（09年3月から）。今年6月に武蔵野代表取締役社長に就任。（小澤弘教）

来夏に新工場も
現在、武蔵野はグループ全体で24の工場を持ち、埼玉工場と朝霞工場を統合した本社工場も来夏の稼働を予定している。新工場は、統合する2工場は、1・5倍が見込まれ、その他に将来スペース

メーカーとして 社会的責任を